

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アトリエえとす				公表日	2026年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・量のスペースを増やしています。	・法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	法令で必要とされる配置数を配置しています。 児童発達支援管理員1名(常勤) 児童指導員1名(常勤)・保育士を1名(常勤) 非常勤保育士2名非常勤児童指導員1名	・2026年4月より非常勤児童指導員1名配置予定。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・排泄交換代の高さを高くしました。 ・トイレは福祉トイレになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・活動内容によって過ごす場所を変えています。 ・リラックスできる空間など利用者に合わせた空間作りが出来ていると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・タタミスペースや静養室等状況に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	・打ち合わせにて随時意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・評価表は今後活用し、業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・常勤は毎年必ず実施。 ・必要に応じ外部研修に参加しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	・藤沢市や県に確認を随時しており業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・常勤は毎年必ず実施。 ・必要に応じ外部研修に参加しています。 ・研修情報は共有されています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・当社ホームページにて公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	・アセスメントを行い、支援期間ごとに見直し、サービス計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・常勤が中心となり立案をしています。 その後職員に情報共有しています。	・今以上にきめ細やかな設定を行い楽しく過ごせる環境を整えます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・アートスタッフを中心に計画をし毎月楽しめるよう工夫しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・業務日誌の記入を行っています。 ・個別に記入シートに記入しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・個々の状況に合わせ、立案、作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・常勤が中心となり立案をしています。 その後職員に情報共有しています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・アートスタッフを中心に計画をし毎月楽しめるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・個々の状況に合わせ、立案、作成を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・支援開始前に毎日実施しています。活動中でもスタッフ同士声を掛けあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・利用時対応できるよう共有し、必要に応じて個別支援計画に反映させています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・業務日誌の記入を行っています。 ・個別に記入シートに記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画に活かしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2	・ガイドラインに則した活動を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・ガイドラインに則した活動を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・児童発達支援管理責任者が中心となり参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・医師の指示書のもと、看護師が対応しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・学校との連携は常に意識し、密に連絡をとっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	・計画相談員と連携を図り、必要に応じて情報共有しております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・ケース会議等に参加。状況報告、情報の共有に努めております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	・必要に応じて連絡を取っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・イベント企画に参加したりおやつを貰いに行ったりしています。	・頻りにクラブとの交流を検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	・事業所連絡会へ定期的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・保護者との連絡は密に行い、共通理解を持てるよう心掛けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	・計画相談員を中心に学校や関係機関への橋渡し役割を担っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	・事業所内に掲示とともに契約時に適切に説明をしています。 ・2025年度より個別支援計画書に換算項目を掲載していきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	・ご家族、ご本人の意向を尊重し、作成に務めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2	・送迎時、面談時、電話等にて説明し、同意を得て実施しております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・個別支援計画を基に必要な応じて実施。 ・計画相談員、学校、行政機関と連携し対応します。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	・現在父母の会等実施しておりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	・出来る限り即日対応。 ・再発を防ぎます。 ・対応できない場合も、検討。 状況により行政への報告も行います。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・会報は2〜3か月に発行しています。 ・活動予定などは、ホームページにて情報発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・施錠できるロッカーに保管しています。 また、端末はパスワードを設定しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・連絡ノート、公式LINE、電話などで情報共有しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・法人開催のイベントに参加できるようにしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・防災、防犯委員を中心にマニュアルの策定しております。 ・感染症研修を毎年1回実施。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・避難訓練を年毎2回実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・ご家族に確認し、医師の指示書に基づいて看護師が対応しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・アレルギーの有無をご家族に確認し、指示に基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・ガイドラインに則した活動を行っております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・当社ホームページにて公開しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・事故報告やヒヤリ事例を皆で共有し話し合い改善策を相談し確認をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・オンライン研修を毎月2本視聴 ・ヒヤリハットの振り返り等、日々啓蒙しており改善に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・現在、該当者なし。		